



「生きものの人・共生の里を考えるシンポジウム」が

開催されました

10月8日、「生きものの人・共生の里を考えるシンポジウム」が、トキのむら元気館で開催され、多くの方からご来場いただきました。このシンポジウムは、大型希少鳥類



佐渡Kids生きもの調査隊による活動発表

をシンボルに保護活動に取り組む4市（山口県周南市のナベヅル、鹿児島県出水市の万羽ヅル、兵庫県豊岡市のコウノトリ、佐渡市のトキ）が連携し、毎年持ち回りで開催し情報交換を行うもので、今年で6回目となりました。

「トキやコウノトリと共生するために」と題した基調講演では、山階やましな鳥類研究所名誉所長の山階哲（やましさとし）氏より、野外給餌の問題点について語っていただきました。

また、4市の子どもたちによる活動報告に加えて、佐渡と同じく世界農業遺産に認定された石川県能登の子ども代表による発表もありました。佐渡Kids生きもの調査隊は、佐渡の人たちのさまざまな取り組みを学び、自分たちがどのような活動をしていったらいいのかを考えたいとまとめました。

さらに、「生きものとの共生を活用した地域振興について」を議題としたパネルディスカッションでは、4市の代表のほか、岩首談義所事務局長の大石惣一郎さん、佐青年会議所理事長の伊藤慎太郎さんがパネリストとして参加しました。4市の現状、保護の状況、大型希少鳥類を通じての交流人口促進、地域活性化等、活発な意見交換が行われ、今後とも4市の連携を推進していくことを確認しました。

なお、今回のシンポジウムは、平成26年1月に鹿児島県出水市を開催予定地としています。

■ご寄付ありがとうございました

10月2日、佐渡市トキ環境整備基金への寄付金贈呈式が行われ、シダックス株式会社様より100万円のご寄付をいただきました。

これは、トキのシンボルデザインをかたどったピンバッジを製作し、販売した代金の一部を寄付していただくという取り組みによるものです。ご芳志は、トキの生息環境整備のために活用させていただきます。

◆市役所農林水産課生物多様性推進室トキ政策係（トキ交流会館内）

☎24-6040



佐渡トキツデーウオーク2012が

開催されました

10月13日（土）と14日（日）、両津・新穂地区と小木地区で、「佐渡トキツデーウオーク2012」が開催されました。

北は宮城県、南は福岡県から、2日間延べ382名の皆さんにご参加いただきました。好天にも恵まれ、参加者は自分たちの脚力にあわせて、それぞれのコースに参加し、思い思いのペースで佐渡の雄大な自然を満喫していました。

島・経島や宿根木を巡る12kmコースと、更に沢崎鼻灯台、佐渡太鼓体験交流館まで巡る24kmコースでした。今年、38年ぶりに自然界でトキのひな8羽が巣立ちました。今大会では、残念ながら自然界のトキを見ることができませんでしたが、いつかは大空を舞うトキの姿に出逢えることでしょう。

1日目は、「佐渡両津・トキとの出逢いのみち」で、おんどこドームをスタートし、牛尾神社やトキ交流会館、トキの森公園などを巡る12kmコースと、そこから更に、両津博物館や樹崎神社、加茂湖周辺を巡り、おんどこドームに戻る24kmコースでした。



山菜汁のサービス



加茂湖周辺の遊歩道



琴浦～宿根木遊歩道



矢島・経島

